

⑱ 金融機関との連携によるマッチングによる 店舗資産承継事例

山形県商工会連合会

事例概要 (支援企業1:株式会社T本店、支援企業2:有限会社Y)

株式会社T本店は町内中心商店街にある家族経営型食料品販売店であり、ピーク時はある程度の売り上げを確保していたが、大型スーパーマーケット進出等による競争激化のため売上不振となり、H20年1月に廃業。商店街の空洞化を回避したいと考えた株式会社T本店のオーナーである相談者から店舗資産承継マッチングの支援依頼を受けたもの。当支援センターは金融機関と連携して承継希望者探索等に取り組み、創業以来100年続く老舗食料品小売業者である有限会社Y(郊外に立地)とのマッチングの成約に結びつけ、さらに有限会社Yの新店舗開店及び後継者育成まで支援した事例。

支援の経緯

【支援開始区分】

相談者が商工会を来訪し支援を依頼。商工会から当支援センターへ紹介

【支援経過】

H20年4月:商工会来訪によりニーズ把握。

H20年10月~:センター、商工会、地元金融機関による課題抽出、マッチング支援開始

H20年12月~:専門家による新開業支援と併せて承継希望者に対する支援遂行(店舗等資産取得、改装費用等資金調達支援を含む)。

H21年8月:承継者事業者の後継者が店長として新店をオープン。



支援の概要

【応援Coの役割】

商工会、金融機関との連携によりマッチング候補を探索し、店舗資産承継にかかる新店舗コンセプト作り、資金調達等の開業支援及び後継者教育などの関連した複数の工程管理を実施。

【他の支援者等(専門家・実務家等)の役割】

- ・金融機関が店舗取得及び改装資金を融資
- ・派遣した経営士が店舗コンセプト等を含む承継事業者及び後継者の経営計画策定を支援

【支援概要】

(STEP1) ニーズの把握

「譲渡希望企業」は売上減等から廃業するも商店街空洞化を回避すべく承継先を希望していた。「譲受希望企業」は中心商店街への進出を希望していた。また進出時の資金調達等に課題を抱え、新規事業のノウハウ提供を希望。将来的には後継者への事業承継を行いたい。

(STEP2) ニーズの整理

両企業をマッチングさせ、さらに当該立地による新概念の店舗出店余地(事業性)の検討と資金調達等の検討を行う必要がある。

(STEP3) 課題解決の方向性

店舗コンセプトを含む企画、出店シミュレーション等につき専門家である経営士の派遣を行い、同計画に基づき商工会支援の下、金融機関と連携し、さらなる資金調達余地を検討。

- 出店コンセプト、事業性評価、事業計画支援
- 事業戦略の検討支援
- 資金調達支援
- 基本条件成就を前提とする店舗資産承継支援

支援の成果・今後の見通し

【支援の成果】

譲渡希望者ならびに譲受希望者の双方のニーズを結びつけ(マッチング候補先の探索)、同候補先の抱える課題に対して実務家、金融機関等と連携の下、支援を実施。

最終的に両支援先のニーズにマッチした店舗承継が成約するに至り、承継希望者に対する事業運営指導等をへて新規開店までこぎつけた。

本取り組みにより中心商店街の新たな顔の創出・雇用機会の創出に寄与するに至った。

【今後の見通し】

新店舗の運営に関し、引き続き支援センターならびに商工会の支援を希望されており、今後は事業安定に向けた支援を進める意向。



支援のポイント

- 当支援センターと中小企業基盤整備機構東北支部、地元商工会、金融機関とが連携して支援を行った。
- 事業承継者は、新店舗経営計画立案のノウハウ等が不足していることから、支援内容は「経営計画策定支援」及び「事業開始支援」とした。
- 当地域の立地特性・地元購買力・他競合店との差別化等を総合的に視野に入れた具体的計画を策定するため、当支援センターが選定する地元事情に精通した適材専門家派遣を重視した。
- 新店舗の責任者となる子息に対しては、専門家派遣時等に同席を要請し、キーパーソンとしての責任の自覚と経営認識の高揚を図るとともに新店舗の経営方針等情報の共有を図ることとした。



関係者の声

（応援Coの声）

当支援センターと地元商工会との定期的な情報共有を図ったことから、当支援センターに紹介があり、本支援に至ったものであるが、特に「店舗等事業承継型」支援を進めるためには関係金融機関との調整も重要と考えるところでした。

また、本事業承継者に対しては、地元商工会と連携しながら単品ごとの利益目標、入店客数目標及び競合店との差別化戦略等について今後も支援予定です。

（事業者の声）

マッチングの打診から、資金確保、経営計画策定、オープンまで具体的な支援をいただいて新店舗を開店できました。心から感謝しています。

支援を通じて当社の強みをしっかりと認識することができました。更に、今まで困難だった後継者（息子）との情報の共有等ができるようになり、後継者と心をつなげて新店舗の事業展開に取り組んでおります。今後ともよろしくお願いいたします。